

### ◆市民活動見本市◆

市民活動支援センターの主催行事として「市民活動見本市」が、今年も2月27日～3月1日の3日間市役所1階ホールで開催された。

市民活動見本市は、市民・行政・企業など市民活動団体とのつながりの場として、センターに登録のある約150の市民活動団体から様々な分野で活動する25団体がパネル展示等により活動紹介するもので、我が「ときめきライフ埼玉」も昨年に引き続き出展を要請され延べ6名の会員が、中高年いきいき講座、サロン、ハイキング、施設見学等様々な活動を紹介した。隣のブースでは、行政書士団体が成年後見制度を紹介し、また向かいのブースでは、ゴックン研究会が誤嚥性肺炎の防止を熱心にアピールしていた。様々な市民が(市議員も)見学に来



展し時々熱心な質問もあり十分活動の紹介ができたものと思う。また3月3日の中高年いきいき講座のチラシも出来上がり、配布説明により参加の予約も何件が頂いた。最終日には主催者から年々見学参加者も増え活発な活動紹介ができたとお礼の言葉があり、成功裏に幕を閉じる事となった。 新津 毅

### ●● 第4回所沢オープンディスコン大会 ●● 2019年3月29日(金) 13:00～17:00

会場：所沢市「こどもと福祉の未来館」主催：所沢市ディスコン協会 後援：NPO法人ときめきライフ埼玉

参加チーム：20チーム(60名) スタッフ：10名

3人1チームとして、1コートに4チームが入り、総当たりのリーグ戦を行った。5コート20チームが激しく順位を競った。所沢市内や県外から愛好者が集結しました。好プレーに拍手、珍プレーに笑いが飛び交う中、楽しく、交流が出来ました。 磯 竹栄



優勝：かわぐちB/準優勝：ひまわりC/3位：ふれあい会B

### 第41回ときめきライフ埼玉 ゴルフコンペ 10月11日(木)

熊谷市の大麻生ゴルフ場で13名(内女性3名)が参加し開催されました。小雨交じりの中、熱戦が展開され、無事終了しました。終了後、食堂にて、ティパーテーと表彰式を行い、和やかな内に閉会しました。

成績は次の通りです。

- 優勝：磯 竹栄氏(ネット69.2)
- 準優勝：松本雄之氏(ネット73.4)
- 三位：古川 徹氏(ネット76.6)



磯 竹栄

### 新入会員紹介

#### 多賀 誠

「新入会員の多賀誠と言います。」長年サラリーマンをしまして、退職後地元で何か活動出来ないか探していたところ、当法人に出会い仲間に加えていただきました。

皆さんに何かと親切にいただき、自己啓発活動、施設見学会、ハイキングなど、今までになかった経験させていただいております。現在の趣味はもっぱら絵を描いていますが、外にも出ようとたまにゴルフを楽しんでいます。何にでも興味を持って前向きに活動していきますので、今後ともご指導宜しくお願い致します。



### 【編集後記】

平成天皇の退位により令和の時代が始まりました。

昭和天皇の崩御で始まった平成と異なり、退位による改元は明るく希望に満ちたスタートになったように思います。

昭和生まれメンバーで、令和を元気にいきいきと活動していきましょう。

四谷 英貴



多門院 牡丹

# 会報 ときめき 34号

## NPO法人ときめきライフ埼玉

発行日 2019年6月1日 発行責任者：磯 竹栄 編集：四谷 英貴



お台場 ブジテレビ見学

### 2019年度(第5期)定期総会

\*日 時：5月18日(土) 15時～16時30分

\*会 場：所沢市こどもと福祉の未来館

\*議 事：

- 第1号議案 2018年度活動実績報告
- 第2号議案 2018年度会計報告
- 第3号議案 2019年度基本方針・活動計画
- 第4号議案 2019年度活動予算
- 第5号議案 2019年度役員選任
- 第6号議案 その他

会員総数27名、出席18名、委任9名、よって、定款の規定により過半数以上の出席があり定期総会は成立しました。各担当理事から各議案が提案され、熱心に議論を行った。今期の活動基本方針や予算も問題なく可決・承認され、今後の活動に弾みが付きました。特に「組織的運営を充実し、権限委譲を図り、各部会の自主運営を促進すること」を会員が共通認識し活動を展開していきたい。

会員各位のご理解とご協力をお願いします。

磯 竹栄



## 埼玉県AD3 団体連絡会 第14回

\*日 時 10月2日(火) 15時～17時

\*会 場 「こどもと福祉の未来館」1F多目的室2号

\*参 加 生きがい彩の会/健生かわぐち

健康・生きがい開発財団

ときめきライフ埼玉

(磯理事長・鈴木副理事長・齊藤)

財団からフレイル予防事業、テキスト改訂の検討状況、新5か年計画の中での財団の広報機能拡充策の紹介等の説明がありました。塚田洋子アドバイザーより地元西東京市における自らのフレイルサポーターの活動に即した「フレイルサポーターの実践体験報告」と実際に参加者全員でフレイルチェックを行い、とても分かり易い説明でした。

最後に埼玉3団体の活動報告と今後の活動予定が報告され、そのなかで各会の課題と対策についても報告されました。終了後、場所を「寒舎」に移し、参加者の交流が図られ、各会から財団に対する様々な要望や意見が出ました。

齊藤 秀夫

### 健康生きがいづくりアドバイザー全国大会

#### & 健康生きがい学会大会

11月10日「第26回健康生きがいづくりアドバイザー全国大会」が「人生100年時代人のつながりで新たなステージへ」をテーマに東京大学で、また、翌11日は「健康生きがい学会第9回大会」が「健康生きがいを支える福祉機器・ICT・ロボットの役割」をテーマに、大妻女子大学で開催されました。



私は、参加される方の受付を担当したこともあり、残念ながら、二日目の講演会を拝聴することはできませんでしたが、両日とも大変多くの方が参加され、基調講演や特別講演を始め、分科会等が盛会裏に行われました。

特に、全国大会で特別講演をされた同志社大学の関根千佳教授がおっしゃった「高齢者は、地域や社会に貢献する権利と義務がある。」「明日死ぬと生きて、永遠に生きると思って学びなさい。」という言葉が印象的でした。また、全国大会終了後の懇親会では、和気あいあいとした雰囲気の中、他県各市の方と意見交換するなど、充実した二日間を過ごすことができました。

本橋 則子